

平成 25 年度 福岡市の障がい者虐待の状況について

1 通報・届出受付状況

「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」(障害者虐待防止法)は、平成 24 年 10 月 1 日に施行された。本統計は、平成 24 年度と平成 25 年度(平成 25 年 12 月末現在)に通報・届出があったものを計上した。

平成 24 年度は通報・届出件数が 27 件、平成 25 年度は 66 件だったが、同一事例について複数回あったものもあり、実数は 53 件である。

なお、その他には、近隣住民とのトラブルや病院への苦情等が含まれる。

【平成 24 年度(平成 24 年 10 月～平成 25 年 3 月)】

障がい者虐待の種類		養護者による障がい者虐待	障がい者福祉施設従事者等による障がい者虐待	使用者による障がい者虐待	その他	合計
通報・届出件数(実数)		8	3	1	15	27
内訳 (重複あり)	身体的虐待	5	1	0	2	8
	性的虐待	1	0	0	2	3
	心理的虐待	4	2	0	5	11
	放棄・放任 (ネグレクト)	2	0	0	3	5
	経済的虐待	0	1	1	0	2

【平成 25 年度(平成 25 年 12 月末現在)】

障がい者虐待の種類		養護者による障がい者虐待	障がい者福祉施設従事者等による障がい者虐待	使用者による障がい者虐待	その他	合計
通報・届出件数(実数)		24	7	9	13	53
内訳 (重複あり)	身体的虐待	12	2	0	0	14
	性的虐待	0	0	0	1	1
	心理的虐待	9	3	4	6	22
	放棄・放任 (ネグレクト)	5	0	0	0	5
	経済的虐待	7	1	2	1	11

※通報・届出件数(実数)について：同一又は明らかに同一と思われる相談・通報・届出者から同一事例に対して複数回の相談通報があった事例については 1 件として計上しています。

2 通報・届出者

通報・届出者は平成 24 年度は被虐待者本人が最も多かったが、平成 25 年度は警察や知人、行政職員等多様化している。

【平成 24 年度（平成 24 年 10 月～平成 25 年 3 月）】

障がい者虐待の種類	養護者による障がい者虐待	障がい者福祉施設従事者等による障がい者虐待	使用者による障がい者虐待	その他	合計
相談支援専門員・障がい者福祉施設従事者等	3	0	0	0	3
本人	3	2	0	9	14
家族・親族	0	1	1	2	4
警察	2	0	0	4	6
合計	8	3	1	15	27

【平成 25 年度（平成 25 年 12 月末現在）】

障がい者虐待の種類	養護者による障がい者虐待	障がい者福祉施設従事者等による障がい者虐待	使用者による障がい者虐待	その他	合計
相談支援専門員・障がい者福祉施設従事者等	1	0	0	0	1
本人	7	2	5	7	21
家族・親族	4	3	0	1	8
その他	12	2	4	5	23
合計	24	7	9	13	53

3 事実確認の状況

平成24年度の通報・届出の件数は27件、そのうち虐待疑いがあるものとして事実確認をしたのが12件だった。

平成25年度の通報・届出の件数は66件、そのうち虐待疑いがあるものとして事実確認をしたのが15件だった。

【平成24年度（平成24年10月～平成25年3月）】

（単位：件）

	養護者による 障がい者虐待	障がい者福祉 施設従事者等 による障がい者 虐待	使用者による 障がい者虐待	合計
a) 事実確認調査を行った事例	8	3	1	12
a-1) 立入調査以外の方法により事実確認調査を行った事例	8	3	1	12
a-1-1) 訪問調査により事実確認調査を行った事例	5	3	0	8
a-1-2) 関係者からの情報収集のみで事実確認調査を行った事例	3	0	1	4
a-2) 立入調査により事実確認調査を行った事例	0	0	0	0
a-2-1) (立入調査のうち) 警察が同行した事例	0	0	0	0
a-2-2) (立入調査のうち) 警察に援助要請したが同行はなかった事例	0	0	0	0
b) 事実確認調査を行っていない事例	0	0	0	0
b-1) 通報・届出を受理した段階で、明らかに虐待ではなく事実確認不要と判断した事例	0	0	0	0
b-2) 通報・届出を受理、後日、事実確認調査を予定している又は事実確認調査の可否を検討中の事例	0	0	0	0

【平成25年度（平成25年12月末現在）】

（単位：件）

	養護者による 障がい者虐待	障がい者福祉 施設従事者 等による障が い者虐待	使用者による 障がい者虐待	合計
a) 事実確認調査を行った事例	11	2	1	14
a-1) 立入調査以外の方法により事実確認調査を行った事例	10	2	1	13
a-1-1) 訪問調査により事実確認調査を行った事例	10	2	1	13
a-1-2) 関係者からの情報収集のみで事実確認調査を行った事例	0	0	0	0
a-2) 立入調査により事実確認調査を行った事例	1	0	0	1
a-2-1) (立入調査のうち) 警察が同行した事例	1	0	0	1
a-2-2) (立入調査のうち) 警察に援助要請したが同行はなかった事例	0	0	0	0
b) 事実確認調査を行っていない事例	13	5	8	26
b-1) 通報・届出を受理した段階で、明らかに虐待ではなく事実確認不要と判断した事例	12	5	8	25
b-2) 通報・届出を受理、後日、事実確認調査を予定している又は事実確認調査の可否を検討中の事例	1	0	0	1

4 事実確認の結果

平成 24 年度は、虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例は 4 件で、すべてが養護者によるものである。

平成 25 年度は、虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例は 3 件で、すべてが養護者によるものである。

【平成 24 年度（平成 24 年 10 月～平成 25 年 3 月）】 (単位:件)

	件数
a) 虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例	4
b) 虐待ではないと判断した事例	7
c) 虐待の判断に至らなかった事例	1
合 計	12

【平成 25 年度（平成 25 年 12 月末現在）】 (単位:件)

	件数
a) 虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例	3
b) 虐待ではないと判断した事例	10
c) 虐待の判断に至らなかった事例	1
合 計	14

5 障がい者虐待の種類ごとの虐待類型

平成 24 年度：虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例 4 件のうち、身体的虐待と心理的虐待が 1 件、心理的虐待のみが 1 件、身体的虐待のみが 1 件、身体的虐待・心理的虐待と性的虐待が 1 件である。

平成 25 年度：虐待を受けた又は受けたと思われたと判断した事例 3 件は、経済的虐待と身体的虐待と心理的虐待が 1 件、経済的虐待と心理的虐待が 1 件、身体的虐待のみが 1 件である。